

令和4年度 医師確保対策事業について

令和4年3月14日(月)
地域医療対策協議会

令和4年度 医師確保対策の概要

県の対策 国の対策

	医 学 生 (6年)	臨 床 研 修 医 (2年)	専 攻 医 (3~5年)	医 師																																																						
県内定着対策	①医師充足対策事業 (S47~) 137,730		自治医科大学で医師を養成し、卒業医師をへき地診療所等へ派遣																																																							
	②臨床研修病院合同説明会 (H17~) 388 R3: 12病院、医学生57名参加	臨床研修制度の見直し ※研修希望者に対する募集定員の割合を縮小 ※都道府県への権限移譲 (各病院の定員設定、プログラム変更等)	⑤結核地域医療体制強化事業 (R2~) (担当:感染症対策課) 20,088 (H29~R1:結核医療体制強化事業として実施) 結核診療を担う医師の育成を大分大学に委託 ※結核診療支援センター委託分含む	⑩U・Iターン促進対策事業 (H18~) 354 無料職業紹介所「ドクターバンクおおいた」開設																																																						
地域的偏在対策	③おおいた医学生修学サポート事業 (H19~) 94,530 入学金、授業料、修学支援金を貸与 大分大学特別選抜地域枠(旧AO地域枠) 13名 ※学士編入学地域枠 H19~26(3名)、H27~(0名) ※特別選抜地域枠 H21(5名)、H22(10名)、H27~(13名)	⑦地域医療支援センターの整備等 (H22~) (大分大学への委託事業) 50,577 ○地域医療研究研修センター(H22~ 専任医師1名) 豊後大野市民病院に設置。医学生や研修医への実践的な地域医療教育・研修等 ○地域医療支援センター(H23~ 専任医師2名、H31~ 専任医師3名) 地域医療を担う医師のキャリア形成支援や医師・医学生への情報発信、相談支援等	⑥後期研修医研修資金貸与事業(H19~) 54,000 へき地拠点病院等で後期研修を行う医師に研修資金貸与 (⑨と合わせ30人枠) R3貸与: 内科7名 総合診療科1名	⑪へき地医療対策事業 130,593 (S36~) へき地診療所への代診医派遣や無医地区への巡回診療の実施、へき地診療所の運営費や設備整備費の助成																																																						
	④地域医療研修会 (H17~) 2,789 医学生診療所等体験研修 R3: 大分大学地域枠学生25名参加(1班のみ実施)	⑧おおいた地域医療支援システム構築事業 (H20~) 33,625 大分大学への委託研究事業。小児科、産婦人科医師の地域中核病院への派遣及び地域医療を担う人材育成プログラムの研究開発(専任医師3名) 小児科 H21.4~ 国東市民病院(1名) H29.4~ 杵築市立山香病院(1名) H29.4~ 中津市民病院(3名) 産婦人科 H20.10~ 中津市民病院(1名) ※H22.9(+1名)、H25.3(+1名)	⑨後期研修医研修資金貸与事業(H19~) ※⑥の再掲 小児科、産婦人科、救急科の後期研修を行う医師に研修資金貸与 R3貸与: 小児科 6名、産婦人科 8名	⑫大分県医師留学研修支援事業 10,500 (H19~) 小児科・産婦人科や地域中核病院等に勤務する医師の国内外での研修費用の助成 R3: 6月研修 2名、12月研修 1名																																																						
(小児科・産婦人科等) 特定診療科対策	医師養成数を過去最大程度まで増員 大分大学入学定員 H21: 95名→105名 H22: 105名→110名		⑬産科医療補償制度の創設 (H21.1~)	⑬産科医師等確保支援事業 (H21~) 27,630 分娩手当を支給する分娩取扱医療機関に対して助成																																																						
				⑭届出による有床診療所開設審査基準の制定 (H19~) 病床過剰地域であっても、小児科、産婦人科医師の少ない市町村では、有床診療所の開設等を可能とする本県独自の審査基準 H20.9(佐伯市に産婦人科診療所開設) H22.3(杵築市に産婦人科診療所開設)																																																						
				⑮女性医師短時間正規雇用支援事業 (H21~) 28,744 女性医師の出産・育児と勤務の両立を支援する医療機関に対する助成 R3: 4病院																																																						
				⑯女性医師復職支援事業 (R4) 1,068 医療機関の女性医師復帰支援プログラムの作成支援を行う大学に対する助成																																																						
				⑰医療勤務環境改善支援センター運営事業 (H27~) 4,582 勤務環境改善に取り組む医療機関を総合的に支援																																																						
				⑱勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業 (R3~) 103,474 地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている医療機関について、医師の労働時間短縮に向けた取組に要する経費を助成																																																						
			女性確保医師対策等																																																							
	【参考】地域枠卒業医師の推移(当初見込み) (単位:人)																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>10</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>地域勤務</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>38</td> <td>50</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>33</td> <td>48</td> <td>55</td> <td>64</td> <td>75</td> <td>92</td> <td>103</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>※地域勤務(実績)</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	初期研修	22	26	26	24	24	26	28	27	後期研修	10	19	23	35	38	28	25	25	地域勤務	1	3	6	5	13	38	50	60	計	33	48	55	64	75	92	103	112	※地域勤務(実績)	3	8	11	14	25						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																		
初期研修	22	26	26	24	24	26	28	27																																																		
後期研修	10	19	23	35	38	28	25	25																																																		
地域勤務	1	3	6	5	13	38	50	60																																																		
計	33	48	55	64	75	92	103	112																																																		
※地域勤務(実績)	3	8	11	14	25																																																					
	医 学 生 (6年)	臨 床 研 修 (2年)	専 門 研 修 (3~5年)	医 師																																																						

※令和4年度医師確保対策予算要求合計 701,433千円(うち地域医療対策協議会 761千円)

医師充足対策事業の概要(自治医科大学)

1 目的

本県の医師充足状況は、人口対比でみる限り全国中位にあるが、地域的に偏在しており、へき地診療所やへき地医療拠点病院の医師の確保が困難な状況にある。このため医師確保対策として次の事業を実施している。

2 概要

(1) 自治医科大学運営費負担事業 (R4年度負担金 132,600千円)

自治医科大学は、医療に恵まれない地域に勤務する医師を養成することを目的に、昭和47年4月に全都道府県が共同で設置した大学であり、運営費については各都道府県が一律負担している。

① 修学資金貸与と義務年限

貸与金総額 23,000,000円

(入学料、授業料、実験実習費、施設整備費、入学時学業準備費)

義務年限 貸与期間(6年)×1.5倍=9年

(義務年限中の標準的な勤務ローテーション)

貸与期間						勤務義務期間								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6年貸与を受けた場合						臨床研修(2年) (県立病院)		へき地勤務 (病院)		専門研修		へき地勤務(診療所・病院)		

② 本県卒業生・在学生の状況(令和4年4月予定)

■ 卒業生 97名

義務年限終了者 74名(中途退職・返還者3名を含む)
内、県内定着者 54名(73.0%)

義務年限中の者 23名

■ 在学中の者 16名

③ 派遣・研修の状況(令和4年4月予定)

■ 病院勤務(10名)

国東市民病院	3名
杵築市立山香病院	3名
豊後大野市民病院	3名
中津市民病院	1名(義務年限終了者)

■ 診療所勤務(3名)

姫島村国民健康保険診療所	2名
佐伯市国民健康保険丹賀診療所	1名(義務年限終了者)

■ 臨床研修 5名

■ 専門研修 3名

■ 県庁勤務 1名

■ 結婚協定による他県勤務 2名

■ 産育休 1名

(2) その他自治医科大学医師等に係る経費

- ・自治医科大学卒業医師研修
- ・自治医科大学卒業医師派遣に係る連絡調整

大分県医師修学資金貸与制度について(地域枠)

目的

医師不足に対応するため、地域医療への貢献を志す県内出身の医学生に対して修学資金を貸与することで、卒業後の県内定着を促進し、医師不足が顕在化している過疎地域等の医師確保を図る。

制度の概要

区分	特別選抜(総合型選抜)地域枠(H21~)	学士編入学地域枠(H19~26)
①対象者	県内出身者で、大分大学卒業後、県の指定する医療機関で医師の業務に従事しようとする医学生	
②定員	13名 (H21~5名、H22~10名、H27~13名)	※H19~3名、H27~0名
③貸与対象	入学金+授業料+修学支援金	入学金+授業料+修学支援金
④貸与期間	最短 6年	最短 4.5年
⑤貸与総額	7,096,800円/1人当たり	10,793,100円/1人当たり
⑥返還の免除	貸与を受けた期間の2分の3を義務期間とし、県の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額を免除する。	
	最短 9年(6年×1.5倍)	最短 7年(4.5年×1.5倍)

標準的な勤務パターン

① 学士編入学地域枠の勤務パターン

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7
配置先	臨床研修 (大学病院)		地域 勤務	専門研修(大学病院等) 3年間 地域勤務(へき地医療拠点病院等) 2年間			

② 特別選抜地域枠の勤務パターン

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
配置先	臨床研修 (大学病院)		地域 勤務	専門研修(大学病院等) 3年間 地域勤務(へき地医療拠点病院等) 4年間					

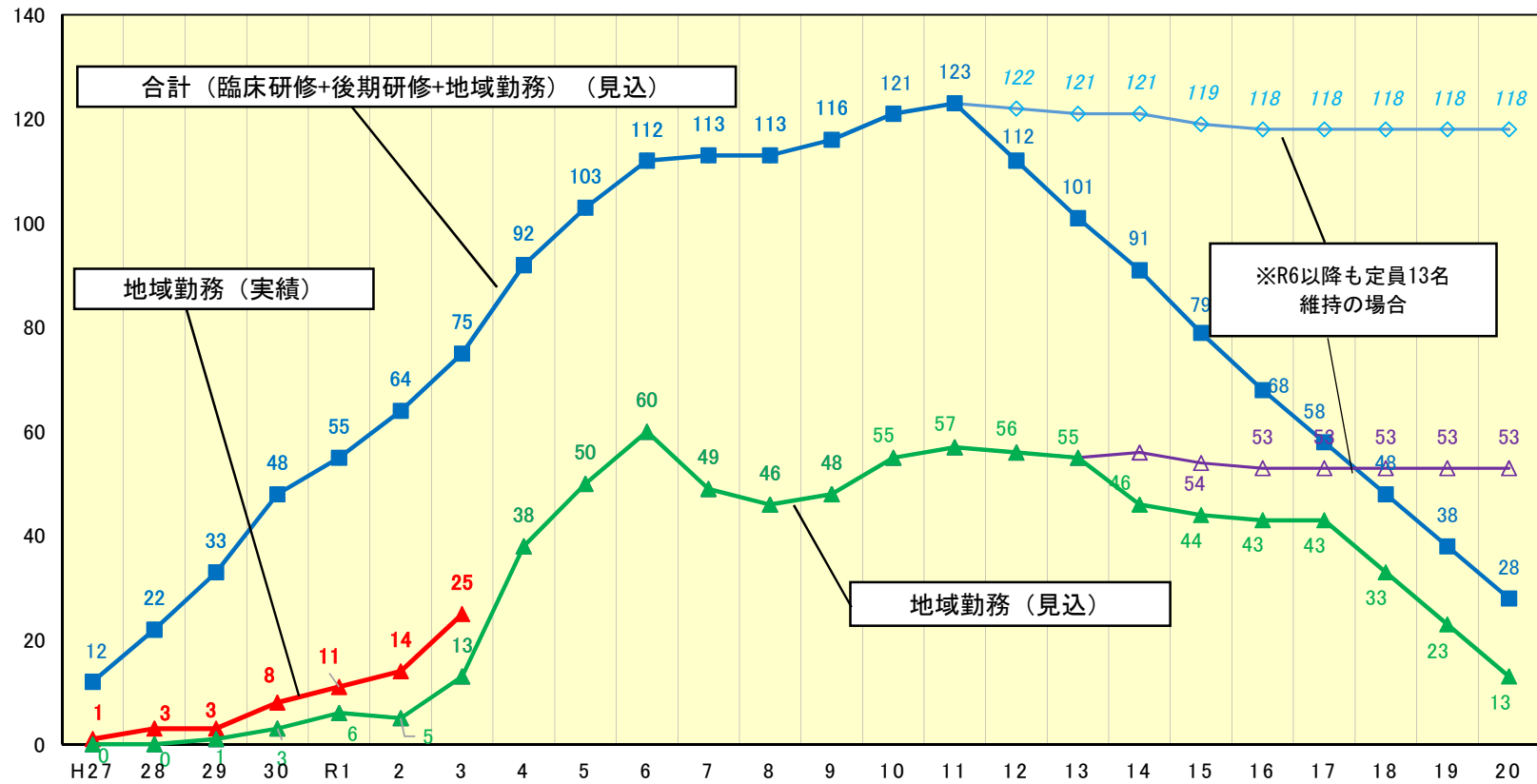
指定医療機関

区分	医療機関名	自治医 派遣先	
臨床 研修	大分大学医学部附属病院 (県内の研修協力病院等での研修も可)	—	
専門 研修	大分大学医学部附属病院等	—	
地域勤務	(旧大分市内及び別府市内を除く) へき地医療拠点病院	国東市民病院	○
		杵築市立山香病院	○
		豊後大野市民病院	○
		中津市民病院	○
		南海医療センター	
		大分県済生会日田病院	
		臼杵市医師会立コスモス病院	
		津久見市医師会立津久見中央病院	
		竹田医師会病院	
		宇佐高田医師会病院	
	佐賀関病院		
	長門記念病院		
	佐伯中央病院		
	大久保病院		
	高田中央病院		
	市町村が設置するへき地診療所	姫島村国民健康保険診療所	○
		津久見市保戸島診療所	
		佐伯市国民健康保険因尾診療所	
		佐伯市国民健康保険鶴見診療所	
		佐伯市国民健康保険丹賀診療所	○
佐伯市国民健康保険大島診療所		○(兼)	
佐伯市国民健康保険米水津診療所			
佐伯市国民健康保険大入島診療所			
日田市立上津江村診療所			
日田市立東溪診療所			
九重町飯田高原診療所			
中津市国民健康保険山移診療所			
中津市国民健康保険津民診療所			
中津市国民健康保険槻木診療所			

※上記の派遣先を基本とするが、派遣先の調整に支障を来すこととなった場合は、二次救急医療を担う病院(大分市・別府市を除く)も加えて派遣調整する

地域枠卒業医師の推移（見込と実績）

R3. 4. 1時点



合計＝卒後1～9年目の人数（臨床研修2年間+後期研修3年間+地域勤務4年間）、地域勤務（4年間）＝卒後3年目・7～9年目の人数

地域卒業医師の配置状況について

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度(予定)		
	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数	
初期研修医	大分大学医学部附属病院		大分大学医学部附属病院		大分大学医学部附属病院		大分大学医学部附属病院		大分大学医学部附属病院		
後期研修	大分大学医学部附属病院 他		大分大学医学部附属病院 他		大分大学医学部附属病院 他		大分大学医学部附属病院 他		大分大学医学部附属病院 他		
地域勤務	東部	杵築市立山香病院	2	杵築市立山香病院	2	国東市民病院	1	国東市民病院	1	国東市民病院	1
			2		2	杵築市立山香病院	2	杵築市立山香病院	3	杵築市立山香病院	3
	中部	津久見中央病院	2	津久見中央病院	2			臼杵市医師会立コスモス病院	4	臼杵市医師会立コスモス病院	3
		臼杵市医師会立コスモス病院	1	臼杵市医師会立コスモス病院	2				4	津久見中央病院	1
	南部			南海医療センター	1	南海医療センター	3	南海医療センター	5	南海医療センター	6
						長門記念病院	1			長門記念病院	2
										佐伯中央病院	1
										西田病院	1
	豊肥	豊後大野市民病院	1	豊後大野市民病院	1	豊後大野市民病院	2	豊後大野市民病院	2	豊後大野市民病院	5
			1		1	大久保病院		大久保病院	1	竹田医師会病院	1
	西部							済生会日田病院	1	済生会日田病院	1
	北部	中津市民病院	1	中津市民病院	3	中津市民病院	4	中津市民病院	6	中津市民病院	7
宇佐高田医師会病院		1			宇佐高田医師会病院	1	宇佐高田医師会病院	2	宇佐高田医師会病院	3	
									高田中央病院	1	
	地域勤務 計		地域勤務 計		地域勤務 計		地域勤務 計		地域勤務 計		
		8		11		14		25		36	
中断				3		3		4		2	
合計	48		58		68		79		92		

※「中断」には育児、県外留学のほか、国試浪人が含まれる。

大分県医師研修資金貸与制度

大分県では、地域の中核的な病院や特定診療科（小児科、産婦人科及びR4年度から新たに救急科を追加）で後期研修を受けている医師に対し、研修資金の貸与を行います。

地域の中核病院や特定診療科での研修を行いやすくすることで、地域の医師確保及び地域偏在の解消を促進します。

事業主体	大分県
対象者	<p>(1) 指定医療機関（へき地拠点病院等）で後期研修を行う医師</p> <p>①市町村が設置する病院及びへき地診療所</p> <p>②その他知事が指定する病院等</p> <p>(2) 小児科、産婦人科及び救急科（特定診療科）の後期研修を行う医師</p> <p>※ただし、義務履行中の者（自治医・地域枠）は対象外</p>
貸与額	月額15万円
貸与期間	3年以内
返済免除	後期研修終了後、県内の病院又は診療所（小児科又は産婦人科の医師は特定診療科）において、医師業務に1年間従事したとき 但し、救急科においては救急医が不足する地域の2次救急医療機関（大分市・別府市を除く）にて救急の業務に1年間従事したとき
貸与対象となる研修パターン	<p>【貸与期間】3年以内</p> <p>【貸与学】 ○貸与月額 15万円 ○貸与総額(3年間貸与時) 540万円</p> <p>【勤務義務期間】 貸与期間に関わらず、後期研修終了後1年間</p> <p>返済免除</p>
申込期間	随時受付（ただし、予算の範囲内）
申込先・問合せ先	大分県福祉保健部 医療政策課 地域医療推進班

大分県医師留学研修支援事業費補助金

大分県では、地域の中核的な病院や知事が指定する小児・周産期を担う病院等に勤務する医師が、国内外で留学研修する際の給与と旅費を勤務先の病院が支給する場合、その費用の一部を補助することで、先進医療を学ぶ機会の確保や、大学が医師派遣しやすい環境づくりを支援します。

事業主体	大分県内の対象病院																																
対象病院	<p>(1) 地域中核病院（診療科は問いません）</p> <p>①へき地医療拠点病院（ただし、旧大分市及び別府市に所在する病院を除く）</p> <p>②その他知事が指定する病院</p> <p>(2) 小児救急医療及び周産期医療を担う知事指定の病院（小児科、産科に限る）</p>																																
補助対象経費	医師の研修に要する経費（研修期間中の給与、旅費）																																
補助率	県1/2、病院1/2																																
補助要件	①対象病院において1年以上勤務している（又は勤務予定の）医師 ②対象病院において2年以上勤務している（又は勤務予定の）医師																																
基準額	①研修派遣医師1人当たり 50万円 × 研修派遣月数（6月以内） ②研修派遣医師1人当たり 50万円 × 研修派遣月数（12月以内）																																
補助上限額 及び 補助対象となる勤務パターン	<p>次の①～⑥の勤務パターンいずれかに該当する場合、補助の対象となります。</p> <p>◆ 研修期間6月以内：補助上限額150万円（50万 × 6月 × 1/2）</p> <p>① 研修前に1年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> </table> <p>② 研修後に1年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>③ 研修前後の勤務期間が通算して1年以上見込まれる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> <tr> <td></td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>◆ 研修期間12月以内：補助上限300万円（50万 × 12月 × 1/2）</p> <p>④ 研修前に2年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> </table> <p>⑤ 研修後に2年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>勤務</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>⑥ 研修前後の勤務期間が通算して2年以上見込まれる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>研修の先取り（研修後の病院勤務）や研修期間前後の病院勤務の通算が可</p>	1年目	2年目	勤務	研修	1年目	2年目	研修	勤務	1年目	2年目	勤務	研修		勤務	1年目	2年目	3年目	勤務	勤務	研修	1年目	2年目	3年目	研修	勤務	勤務	1年目	2年目	3年目	勤務	研修	勤務
1年目	2年目																																
勤務	研修																																
1年目	2年目																																
研修	勤務																																
1年目	2年目																																
勤務	研修																																
	勤務																																
1年目	2年目	3年目																															
勤務	勤務	研修																															
1年目	2年目	3年目																															
研修	勤務	勤務																															
1年目	2年目	3年目																															
勤務	研修	勤務																															
申込先・問合せ先	大分県福祉保健部 医療政策課 地域医療推進班																																

救急医の育成による地域救急医療体制の充実（大分県医師研修資金貸与事業：救急科の追加）

地域における救急医の役割

- 急病、外傷、中毒など原因や罹患臓器の種類に関わらず、24時間体制で救急患者に対応、また災害時にDMATとしても活躍
- 発熱症状のあるコロナ疑い患者の受入も救急窓口対応が多い
- 救急搬送患者の3分の2は高齢者が占め、重症化を防ぐためには迅速な初期診療が求められる

➡ **令和7年には全ての団塊世代が後期高齢者となり、地域医療においては救急医の重要性がさらに増加**

救急医の状況

➤ **10万対医師数は九州で下から3番目**

大分県 4.18人
九州平均 4.64人
全国平均 4.34人

➤ **救急医の専攻希望は九州最下位**

1位 福岡42人、8位 大分3人

➤ **地域偏在**

大分、別杵速見、日田玖珠を除く
7救急医療圏域では0～1名

○救急科専門研修プログラム登録状況(人)

	①福岡	⑧大分	全国
H30	10	0	267
R1	9	0	286
R2	11	2	279
R3	12	1	325
計	42	3	1,157

○救急医療機関の専門医数(人)

救急医療圏	医師数
大分	26
別杵速見	6
日田玖珠	2
東国東	1
白津	1
佐伯	1
宇佐高田	1
竹田	0
豊後大野	0
中津	0
合計	38

➤ **救急医が少ない地域**では、専門分野以外の救急患者に対応できないケースがあり、管外搬送率が高い傾向

➤ **過酷な勤務状況**

救急科 月平均104時間
(うち月200時間超 約18%)
内科 月平均70時間

➡ **十分な救急医がいない中、長時間勤務で救急医療ニーズに対応**

令和6年度からの医師の時間外労働の上限規制開始(960h/年)を見据え
早急な救急医の養成が必要

目指す姿

令和9年度までに各救急医療圏に救急医を2名以上配置（大分大学と連携して二次救急医療機関に配置）

対策

医師研修資金貸与制度(返還免除付)の対象診療科に「救急科」を追加～要条例改正

現行大分県医師研修資金貸与条例第1条の2第4項「特定診療科 県内の病院等の小児科及び産婦人科」

- ・ 養成数 12人（不足分10人÷3年÷4人/年）⇒R7に4名、R8に4名、R9に4名が救急医として地域で従事
- ・ 貸与額 月15万円×12月＝年180万円を貸与(上限3年分)
※ 専門研修修了後、大分市、別府市を除く地域の二次救急医療機関に1年間従事した場合は返還免除

女性医師短時間正規雇用支援事業 事業概要

1 目的

短時間正規雇用を導入する医療機関を支援し、勤務医の過重労働の軽減及び女性医師の出産・育児等と勤務との両立を可能とし、医師の離職防止・復職支援を図る。

2 事業の実施主体

事業の実施主体は、市町村、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会、全国社会保険協会連合会、医療法人、その他知事が認める者とする。

3 補助事業の概要

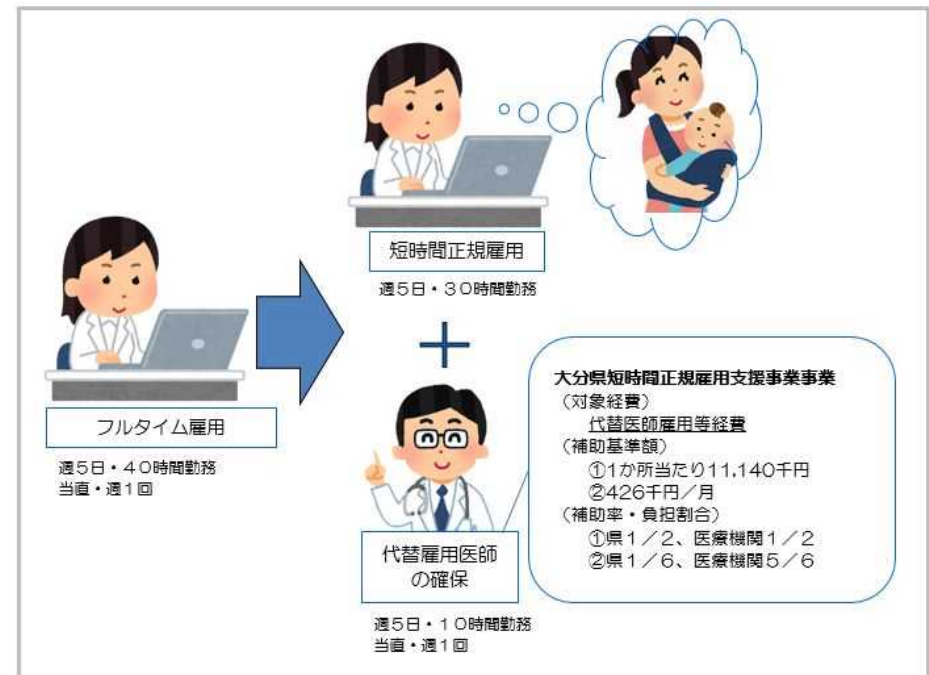
短時間正規雇用を導入するために要する経費（代替医師の確保に要する経費）に対し、予算の定めるところにより補助金を交付する。

4 令和3年度実績

4施設

5 補助額

$11,140$ （千円） $\times 1/2 + 426$ （千円） \times 月数 $\times 1/6$



女性医師復職支援事業

【予算案】 1,068千円（補助率2/3）

【1 現状・問題点】

○女性医師数の増加

(1)大分県内の女性医師数と割合

H18:403人(14.6%) → H30:597人(19.0%)

(2)大分大学医学部医学科の女性入学者数と割合

H20:32人(33.7%) → R3:42人(38.2%)

○女性医師の育休取得状況

大分県 H28:育休18人→H30:育休32人

(うち大学病院 H28:育休12人→H30:育休20人)

※県内育休取得者の6割以上が医学部附属病院勤務



・女性医師は出産・育児・介護等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、女性医師の割合が多い診療科等において働きやすい環境整備が課題となっており、出産や育児といったライフステージに応じた就労を支援するための早急な取組が求められる。

・令和6年4月より医師の時間外労働の上限規制が始まり、労働時間の短縮に取り組まなければならない、女性医師の確保は重要な取組となる。

【2 これまでの取組】

(H26～28)

・「女性医療人キャリア支援センター」の立ち上げ支援

・大学内女性医師からの相談受付

(H29)

・eラーニングシステムの開発・整備

(R1)

・相談機能を県内の医療機関の復職支援相談窓口へ拡充

・復職支援プログラムの作成

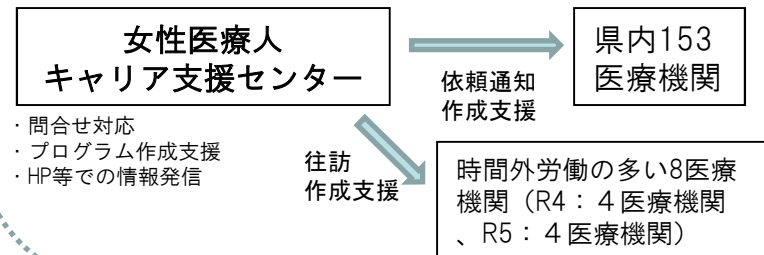
【3 事業内容】

○これまでの取組にて大分大学医学部附属病院内の18診療科で復職支援プログラムが完成。県内育休取得者の6割以上が大学病院勤務ということ踏まえ、この取組を県内医療機関に拡充。

○女性医師のキャリア継続・復帰を支援している大分大学女性医療人キャリア支援センターが、県内153医療機関に復職支援プログラム作成の呼びかけ・作成時の支援(依頼があれば往訪)

○特に、時間外労働の多い8医療機関(時間外が960時間超の医師のいる医療機関)を中心に、県医師会とキャリア支援センターが連携し病院に赴き、プログラム作成時の支援(R4は往訪作成目標4医療機関、2年計画で計8医療機関を作成)

○作成したプログラムは、センターホームページに掲載し、取組を広報誌等で広め、県内医療機関に横展開していく。



【4 効果】

○女性医師

・復帰への心理的不安の解消

・徐々に診療の感覚やスキルを取り戻すことが可能

○医療機関

・プログラム作成準備等の負担軽減

・復職支援を通じた人材確保の推進

医療機関医師等支援事業
(勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業)

103,474千円
(財源:地域医療介護総合確保基金)

現状・課題

- ・働き方改革関連法の改正による医師の時間外労働規制が2024年に開始(原則:960時間/年、例外:1,860時間/年)
- ・2036年までにすべての医師の時間外労働は960時間以内となる
- ・国は勤務医の働き方改革への特例的な対応として、R2年度に診療報酬及び基金事業による新たな制度を創設
※基金事業に新たに区分6として「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備」を追加

地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている医療機関において、区分6を活用して、医師の労働時間短縮に向けた取組を行う医療機関を支援する。

区分6の事業内容

(1)対象事業

- ・勤務環境改善に資するICT機器の導入
- ・休憩室の設備購入等の休憩環境の整備
- ・医師事務作業補助者の研修
- ・特定行為を行う看護師の養成
- ・タスク・シェアリングに伴う代替医師の雇用等

医師の労働時間短縮計画を策定し、勤務環境改善のための取組を総合的に行う医療機関を支援

(2)対象医療機関

- ・救急車(救急ヘリ含む)受入件数が1,000台以上2,000台未満の医療機関
- ・救急車受入件数が1,000台未満のうち、夜間・休日・時間外入院件数が500件以上の医療機関、もしくは、離島・へき地等で同一医療圏に他に救急対応可能な医療機関が存在しない等の特別な理由がある医療機関
- ・周産期医療、小児救急医療、精神科救急、脳卒中や心筋梗塞等の急性期医療、在宅医療等、地域医療の確保に必要な医療機関

(3)補助率等

- ①ICT機器の導入等、資産形成につながる経費 2/3
- ②その他の経費 10/10

【補助上限額】

補助基準単価:133千円×稼働病床数

(4)交付要件

- ・時間外・休日労働時間が年960時間以上の医師がいること
- ・医師の時間外・休日労働時間が年960時間以内(※例外 1,860時間)になるような時短計画の策定
- ・勤務医の状況把握と改善必要性等について提言するための責任者の配置
- ・当該取組を院内掲示等の方法にて公開すること

R4取組(例)

【実施主体】大分大学医学部附属病院

【事業内容】看護師の特定行為研修受講の推進

医師の判断を待たずに手順書により一定の診療補助が行える看護師を養成し、医師の一部の業務をタスクシフトすることにより、医師の負担軽減を図る。

【事業費】

- ・特定行為研修受講費用 5,333千円(5人)
- ・代替看護師の人件費 30,000千円(5人)

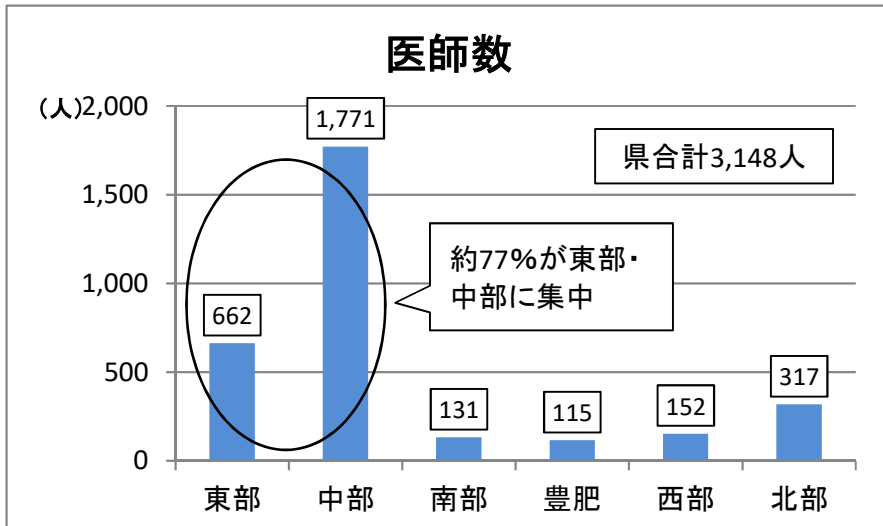
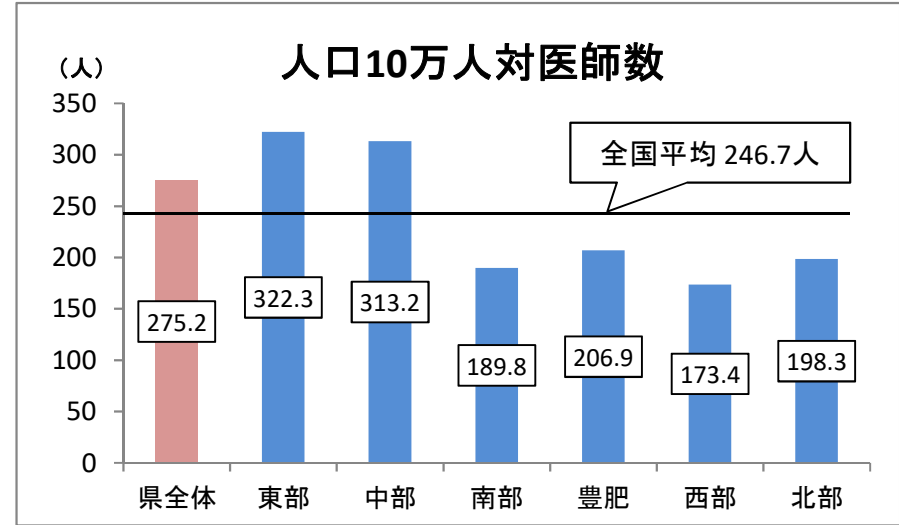
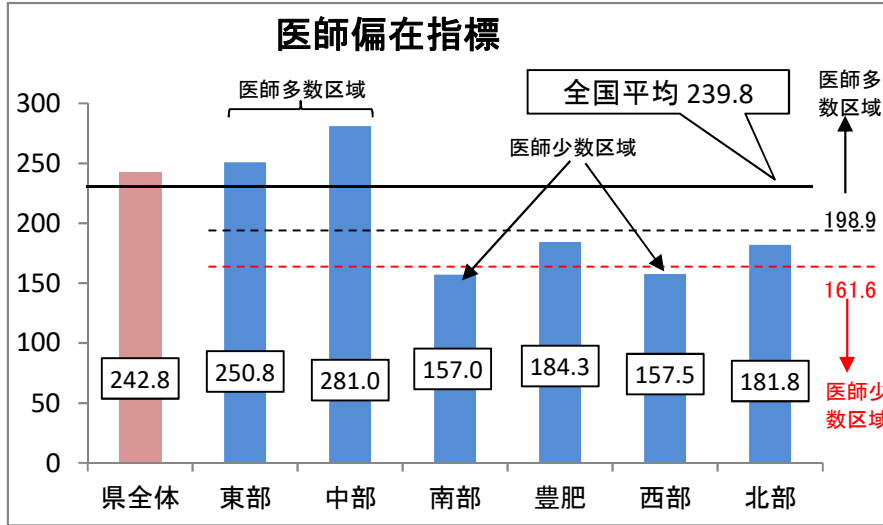
【稼働病床数】 588床

※補助上限額 133千円×588床=78,204千円

最終目的

時間外労働時間が960時間以上の医師がいる県内の全ての医療機関が、2036年までに時間外労働時間960時間以内の短縮を達成する。

大分県内の地域(医療圏)ごとの医師数



医療圏名	市町村名
東部医療圏	別府市、杵築市、国東町、姫島村、日出町
中部医療圏	大分市、臼杵市、津久見市、由布市
南部医療圏	佐伯市
豊肥医療圏	竹田市、豊後大野市
西部医療圏	日田市、九重町、玖珠町
北部医療圏	中津市、宇佐市、豊後高田市

出典：平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)
 ※医師数は医療施設(病院・診療所)に従事している者の数

医療施設従事医師数の状況(全医師)

平成28・30年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)

市町村	人口			医療施設従事医師数			人口10万対医師数		
	H28	H30	差引増減	H28	H30	差引増減	H28	H30	差引増減
国東市	28,215	27,082	△ 1,133	42	35	△ 7	148.9	129.2	△ 19.6
姫島村	1,957	1,830	△ 127	3	3	0	153.3	163.9	10.6
別府市	121,305	119,448	△ 1,857	537	549	12	442.7	459.6	16.9
杵築市	29,807	29,047	△ 760	43	37	△ 6	144.3	127.4	△ 16.9
日出町	28,088	28,007	△ 81	34	38	4	121.0	135.7	14.6
東部 計	209,372	205,414	△ 3,958	659	662	3	314.8	322.3	7.5
大分市	478,586	478,113	△ 473	1,197	1,221	24	250.1	255.4	5.3
由布市	33,957	33,394	△ 563	459	465	6	1,351.7	1,392.5	40.8
臼杵市	38,314	37,124	△ 1,190	58	60	2	151.4	161.6	10.2
津久見市	17,549	16,772	△ 777	27	25	△ 2	153.9	149.1	△ 4.8
中部 計	568,406	565,403	△ 3,003	1,741	1,771	30	306.3	313.2	6.9
佐伯市 (南部)	71,113	69,022	△ 2,091	131	131	0	184.2	189.8	5.6
豊後大野市	36,077	34,620	△ 1,457	73	72	△ 1	202.3	208.0	5.6
竹田市	21,850	20,959	△ 891	40	43	3	183.1	205.2	22.1
豊肥 計	57,927	55,579	△ 2,348	113	115	2	195.1	206.9	11.8
日田市	65,722	63,887	△ 1,835	132	129	△ 3	200.8	201.9	1.1
九重町	9,429	9,044	△ 385	5	5	0	53.0	55.3	2.3
玖珠町	15,592	14,739	△ 853	17	18	1	109.0	122.1	13.1
西部 計	90,743	87,670	△ 3,073	154	152	△ 2	169.7	173.4	3.7
中津市	83,658	83,024	△ 634	180	181	1	215.2	218.0	2.8
豊後高田市	22,692	22,307	△ 385	35	35	0	154.2	156.9	2.7
宇佐市	55,723	54,524	△ 1,199	102	101	△ 1	183.0	185.2	2.2
北部 計	162,073	159,855	△ 2,218	317	317	0	195.6	198.3	2.7
県 計	1,159,634	1,142,943	△ 16,691	3,115	3,148	33	268.5	275.2	6.6
地域計(注1)	525,786	511,988	△ 13,798	922	913	△ 9	175.4	178.3	3.0
全 国	126,933,000	126,443,000	△ 490,000	304,759	311,963	7,204	240.1	246.7	6.6

※人口:全国→人口推計(各年10月1日現在)総務省、市町村→人口推計(年報)統計調査課

※医療施設従事医師数:各年12月31日現在

※注1:大分市、別府市、由布市を除く市町村の合計

【大分県】医師臨床研修マッチング率の推移

病院名	令和3年度			令和2年度			令和元年度			30年度			29年度			28年度			27年度			26年度			25年度			24年度		
	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率
別府医療センター	8	8	100.0	9	9	100.0	9	9	100.0	9	9	100.0	9	9	100.0	8	8	100.0	8	7	87.5	6	6	100.0	4	4	100.0	4	0	0.0
大分県立病院	14	14	100.0	14	14	100.0	12	12	100.0	12	12	100.0	12	5	41.7	12	9	75.0	12	12	100.0	12	9	75.0	12	12	100.0	12	11	91.7
大分大学医学部附属病院	48	38	79.2	48	43	89.6	48	42	87.5	56	39	69.6	61	34	55.7	61	38	62.3	61	39	63.9	61	37	60.7	61	25	41.0	61	29	47.5
大分岡病院	5	3	60.0	5	5	100.0	5	5	100.0	5	3	60.0	5	4	80.0	5	3	60.0	5	2	40.0	5	3	60.0	5	5	100.0	5	4	80.0
中津市立中津市民病院	5	5	100.0	5	5	100.0	5	4	80.0	5	4	80.0	5	4	80.0	4	4	100.0	4	1	25.0	4	3	75.0	4	2	50.0	4	3	75.0
大分県厚生連鶴見病院	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	3	3	100.0	5	3	60.0	2	0	0.0	2	2	100.0
大分中村病院	4	4	100.0	5	2	40.0	5	4	80.0	5	1	20.0	5	3	60.0	5	2	40.0	5	1	20.0	5	2	40.0	5	1	20.0	5	2	40.0
大分医療センター	2	0	0.0	0	0	#DIV/0!	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0
大分赤十字病院	5	5	100.0	5	3	60.0	5	5	100.0	5	1	20.0	6	6	100.0	6	6	100.0	6	6	100.0	6	2	33.3	6	4	66.7	5	4	80.0
大分県済生会日田病院	2	0	0.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	2	100.0	2	1	50.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0
新別府病院	4	3	75.0	4	1	25.0	4	0	0.0	4	4	100.0	2	2	100.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0
大分医師会立アルメイダ病院	5	2	40.0	5	2	40.0	4	4	100.0	4	2	50.0	4	4	100.0	4	3	75.0	4	1	25.0	2	1	50.0	2	2	100.0	2	2	100.0
大学病院計	48	38	79.2	48	43	89.6	48	42	87.5	56	39	69.6	61	34	55.7	61	38	62.3	61	39	63.9	61	37	60.7	61	25	41.0	61	29	47.5
臨床研修病院計	58	48	82.8	58	45	77.6	57	48	84.2	57	42	73.7	56	41	73.2	54	42	77.8	53	34	64.2	51	31	60.8	46	30	65.2	47	30	63.8
合計(大分県)	106	86	81.1	106	88	83.0	105	90	85.7	113	81	71.7	117	75	64.1	115	80	69.6	114	73	64.0	112	68	60.7	107	55	51.4	108	59	54.6
全国	10,904	8,958	82.2	11,007	8,869	80.6	11,109	9,042	81.4	11,253	9,202	81.8	11,014	9,023	81.9	11,195	8,906	79.6	11,052	8,687	78.6	11,004	8,399	76.3	10,489	7,979	76.1	10,519	7,908	75.2

令和4年度 大分県専門研修プログラム登録状況一覧 (R4.2.28現在)

(単位:人)

領域名	内科			救急科	小児科		精神科			外科		産婦人科	
基幹施設名	大分大学	県立病院	大分県済生会日田病院	大分大学	大分大学	県立病院	大分大学	別府医療センター	帆秋病院	大分大学	県立病院	大分大学	県立病院
定員数	35	3	3	5	8	3	5	1	4	10	2	10	3
一次採用数	19	1	0	2	3	1	1	0	2	7	0	2	0
二次採用数	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	28			2	4		3			7		3	

領域名	整形外科				麻酔科		皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	病理科
基幹施設名	大分大学	大分中村病院	大分整形外科病院	別府医療センター	大分大学	県立病院	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学
定員数	6	2	2	2	14	1	3	4	3	5	2	5	1
一次採用数	2	0	0	0	8	0	0	2	4	0	0	1	0
二次採用数	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0
合計	4				9		1	2	4	0	1	2	0

領域名	臨床検査科	形成外科		リハビリテーション科	総合診療科		
基幹施設名	大分大学	県立病院	大分岡病院	大分大学	大分大学	大分健生病院	湯布院病院
定員数	1	5	1	2	4	2	2
一次採用数	0	2	1	0	3	1	0
二次採用数	0	1	0	0	0	0	0
合計	0	4		0	4		

	R4	(参考)R3
定員合計	159	155
一次採用合計	62	44
二次採用合計	16	19
採用計	78	63
マッチング率	49.1%	40.6%

専門研修プログラム採用数の推移(H30～R4)

(単位:人)

	H30	R1	R2	R3	R4
1 内科	25	26	23	23	28
2 救急科	0	0	2	1	2
3 小児科	7	4	2	4	4
4 精神科	5	3	0	5	3
5 外科	8	4	5	10	7
6 産婦人科	2	2	3	5	3
7 整形外科	2	5	4	2	4
8 麻酔科	1	3	2	3	9
9 皮膚科	1	3	4	2	1
10 眼科	4	3	2	1	2
11 耳鼻咽喉科	1	2	3	0	4
12 泌尿器科	2	1	0	1	0
13 脳神経外科	1	0	1	0	1
14 放射線科	2	1	3	1	2
15 病理科	1	1	0	0	0
16 臨床検査科	0	0	0	0	0
17 形成外科	0	1	2	3	4
18 リハビリテーション科	0	0	0	0	0
19 総合診療科	2	2	2	2	4
合計	64	61	58	63	78